

# 平成 26 年度 ナラティブと質的研究分科会活動報告

代表 やまだようこ

報告 浦田 悠

## 1. 集会

第 7 回研究会「ブルーナーと人間をみる眼（古典を学ぼう I）」（2014 年 12 月 13 日，立命館大学，講演者：横山草介氏（青山学院大学），主催：生存のナラティブと質的研究会）

## 2. 特別企画・連携企画による集会等

以下の研究集会を主催・共催で企画・実施し，有意義な議論を行った。

- (1) 国際セミナー「ナラティブ心理学と教育（1）-いじめ予防の技法-」（2014 年 5 月 10 日，立命館大学，主催：立命館大学生存学研究センター）
- (2) 国際セミナー「ナラティブ心理学と教育（2）-子どもと若者のための多文化コミュニケーションの技法-」（2014 年 6 月 15 日，立命館大学，主催：立命館大学生存学研究センター）
- (3) 講演会「リハビリテーションとナラティブ」（2014 年 8 月 30 日，京都大学，主催：京都大学大学院人間・環境学研究科新宮研究室）
- (4) 国際セミナー「『いたみ』『かなしみ』『他者』の現場」（2014 年 9 月 8 日，大阪大学，主催：大阪大学グローバルコラボレーションセンター）
- (5) 日本心理学会第 78 回大会シンポジウム「ビジュアル・ナラティブの可能性：「実感」に基づく質的研究」（2014 年 9 月 11 日，同志社大学）
- (6) 日本質的心理学会第 11 回大会「現代における聖地巡礼の多様な意味をめぐって」（2014 年 10 月 19 日，松山大学）
- (7) セミナー「日本における外国人居住者に対する多職種多文化支援」（2015 年 3 月 20 日，大阪大学東京オフィス，主催：大阪大学グローバルコラボレーションセンター）
- (8) 日本発達心理学会第 26 回大会ラウンドテーブル「ナラティブ論における『意味』とは何か，いかに捉えるか」（2015 年 3 月 21 日，東京大学）

### 3. 読書会の開催

2014年11月15日および2015年1月24日に『Riessman (2008) “Narrative Methods for the Human Sciences”』の文献読書会を開催した。

### 4. メーリングリストによる研究交流

研究会専用のメーリングリスト (narrative123@googlegroups.com) を利用して、会員の交流と情報交換・情報発信を行った。26年度末までに会員は150人を超え、全国組織として学際的なメンバーで活発な情報交換を行った。

### 5. HPによる情報発信

上記の研究会に関する情報については、代表のやまだようこのウェブサイト (<http://www.ritsumei.ac.jp/~yyr12085/yyamada/ynarrative.htm>) に研究会のページを作成し、発信した。